

# めぐみイエス・キリスト教会

2022年1月16日(日)第三主日礼拝  
週報「通算第591号」



## 2022年標題聖句

### 第 I テモテへの手紙御6章17節～19節

《高慢にならず、頼りにならない富にではなく、むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませて下さる神に望みを置き、善を行ない、立派な行ないに富み、惜しみなく施し、喜んで分け与え、来たるべき世において立派な土台となるものを自分自身のために蓄え、まことのいのちを得るように命じなさい。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌222「罪の深みに」 p. 336

【交読文】 No.15詩篇第40篇 p. 890

【賛美Ⅱ】 新聖歌420「雨を降り注ぎ」 p. 676

【使徒信条】 【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.20「神の国となる為に」

【聖書朗読】 第Ⅰテモテ6章17節～19節

【礼拝説教】 《2022年標題聖句から(そのⅡ)》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※聖書箇所(第Ⅰテモテ6章17節～19節)新改訳第二版より

6:17 この世で富んでいる人たちに命じなさい。高ぶらないように。また、たよりにならない富に望みを置かないように。むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませて下さる神に望みを置くように。

6:18 また、人の益を計り、良い行ないに富み、惜しまずに施し、喜んで分け与えるように。

6:19 また、まことの命を得るために、未来に備えて良い基礎を自分自身のために築き上げるように。

●ポイント1.「楽しませて下さる神に望みを置くように」とは？

※ヨハネの福音書16章23節～24節「主イエス様の約束」(新約p.219上段)

16:23「その日には、あなたがたは私に何も尋ねません。まことに、まことに、あなたがたに言います。私の名によって父に求めるものは何でも、父

はあなたがたに与えて下さいます。

16:24 今まで、あなたがたは、私の名によって何も求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けます。あなたがたの喜びが満ちあふれるようになるためです。」

※ヘブル人への手紙11章6節「信仰がなければ」 (新約p.451下段)

11:6 信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いて下さる方であることを、信じなければならぬのです。

●ポイント2.「喜んで分け与えるように」とは？

※エペソ人への手紙2章10節「良い行ない」 (新約p.386上段)

2:10 実に、私たちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをあらかじめ備えて下さいました。

※ルカの福音書6章38節「平地での教えから」 (新約p.122下段)

「与えなさい。そうすればあなたがたも与えられます。詰め込んだり、揺すって入れたり、盛り上げたりして、気前良く量って懐に入れてもらえます。あなたがたが量るその秤で、あなたがたも量り返してもらえるからです。」

●ポイント3.「良い基礎を自分自身の為に築き上げるように」とは？

※第Iコリント9章24節～27節「使徒パウロの勧め」 (新約p.339下段)

9:24 競技場で走る人たちはみな走っても、賞を受けるのは一人だけだということを、あなたがたは知らないのですか。ですから、あなたがたも賞を得られるように走りなさい。

9:25 競技をする人は、あらゆることについて節制します。彼らは朽ちる冠を受けるためにそうするのですが、私たちは朽ちない冠を受ける為にそうするのです。

9:26 ですから、私は目標がはっきりしないような走り方はしません。空を打つような拳闘もしません。

9:27 むしろ、私は自分の体を打ちたたいて服従させます。他の人に宣傳伝えておきながら、自分自身が失格者にならないようにする為です。

## ◎先週の礼拝メッセージの概要【2022年標題聖句から】

《2022年の標題聖句は、第 I テモテからとなります。実は2017年版訳は、使徒パウロが強調する点が弱められた気がします。新改訳旧版訳では、『この世で富んでいる人たちに命じなさい。高ぶらないように。また、たよりにならない富に望みを置かないように。むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませて下さる神に望みを置くように。』となっています。パウロは「神に望みを置くように」ということを、強く勧めています。

また、「今の世で富んでいる人たち」とは、未信者の金持ちではありません。恵みによって祝福され、主イエスを信じる兄弟姉妹たちの事です。

なぜなら、この世で成功し、多く富を手にした人たちは、主イエスの御もとに来ることは非常に難しいからです。まさに、「金持ちが救われるよりは、らくだが針の穴を通る方が易しい」と言われたとおりなのです。

また主イエスは、「山上の垂訓」において、『「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛することになるか、一方を重んじて他方を軽んじることになります。あなたがたは神と富とに仕えることはできません。」』とも、弟子たちに教えられました。ですから使徒パウロは愛弟子テモテに、「祝福の源はどこにあるのか、あるいは誰にあるのか」と言うことを教会員の兄弟姉妹に教えなさい、と言っているのです。

新型コロナ・パンデミックの時代は、三年目を迎えまだまだ続くようです。貧富の差は益々激しくなっています。多くの人々が職を失い、明日に食べる物さえ困っているのが現状です。物価は上昇するばかりです。

このような時代だからこそ、私たちクリスチャンは、今一度、信仰の原点に戻るべきなのです。それは、私たちの救い主であられる主イエス様を心から信じ、信頼することなのです。神様に望みを置くことなのです。

『「ですから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、心配しなくてよいのです。まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。」』と言う真理を。》

## ◎お知らせ

※本日、鈴木師は礼拝終了後、東京聖書キリスト教会の教会大会に出席します。次回は2022年1月23日(日)です。教会にて行ないます。